

第36週の発生動向 (2005/9/5 ~ 2005/9/11)

1. 咽頭結膜熱は、青森保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
2. 伝染性紅斑は、上十三保健所管内であらたに、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。
3. ヘルパンギーナは、青森保健所管内、むつ保健所管内で引き続き**警報**が出されています。

第36週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															0
(60) 咽頭結膜熱	5	0.63			1	0.11			1	0.17	1	0.25	8	0.19	-3
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	9	0.90	1	0.11	1	0.20	3	0.50	1	0.25	20	0.48	10
(62) 感染性胃腸炎	15	1.88	9	0.90	3	0.33	2	0.40			8	2.00	37	0.88	-10
(63) 水痘	3	0.38	3	0.30	3	0.33	7	1.40	6	1.00	1	0.25	23	0.55	11
(64) 手足口病	20	2.50	1	0.10	8	0.89	1	0.20	5	0.83	1	0.25	36	0.86	-31
(65) 伝染性紅斑	5	0.63	6	0.60	2	0.22			15	2.50	4	1.00	32	0.76	4
(66) 突発性発しん	3	0.38			7	0.78	1	0.20	7	1.17	6	1.50	24	0.57	-7
(67) 百日咳															0
(68) 風しん											1	0.25	1	0.02	1
(69) ヘルパンギーナ	21	2.63	11	1.10	2	0.22	1	0.20	9	1.50	8	2.00	52	1.24	-34
(70) 麻しん(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.50	1	0.10	9	1.00	3	0.60	6	1.00	2	0.50	25	0.60	-2
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	2	1.00			6	3.00	4	4.00	5	2.50			17	1.55	6

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (小児科+小児科)	小児科	内科	眼科	養育
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

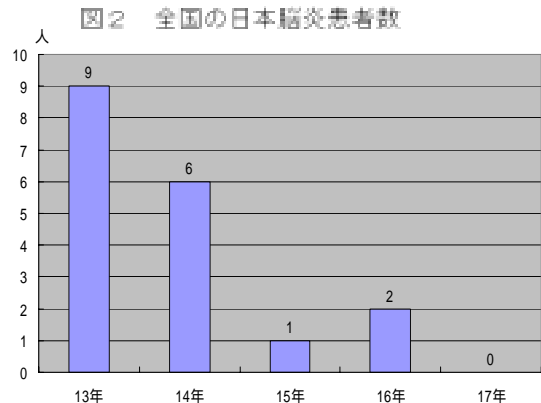
■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症 (三類全数把握疾患) 上十三保健所管内: 2人 (17年計 15人)
- (47) 急性脳炎 (五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (17年計 1人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 4人 (17年計 97人)

感染症の窓

日本脳炎



日本脳炎は、極東から南アジア・オセアニア北部にかけて広く分布しています(図1)。特に今年は、インド北部で流行しており、600人以上が死亡しています(毎日新聞9月9日)。日本国内における日本脳炎の報告数は毎年10人以下です(図2)。

病原体は、日本脳炎ウイルスで、ブタの体内で増殖します。感染したブタの血を吸った蚊が、次にヒトに刺したときにヒトに感染します。6~16日の潜伏期間の後、発熱、頭痛、嘔吐等に続き急激に項部硬直、光線過敏、意識障害、神経系障害等の症状を示します。

致死率が20~40%と高い上、治癒しても後遺症が残ることが多いので、蚊の刺咬を防ぐことや予防接種などによる予防が大切です。